

いるま

No.184

平成30年9月
定例会号
2018年11月1日発行

市議会

だより

9月定例会

条例など33議案等を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
15名が一般質問	7 P
市民の声	16 P





第3回定例会

33議案等を審議

- 条例8件 ■一般議案5件 ■補正予算8件
- 平成29年度年決算認定および関連議案12件

— 条 例 —

一 部 改 正 条 例	議案第63号	入間市印鑑条例の一部を改正する条例
	議案第64号	入間市議会議員及び入間市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
	議案第65号	入間市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	議案第66号	入間市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
	議案第67号	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例
	議案第68号	入間市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第69号	入間市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例
	議案第95号	入間市手数料条例の一部を改正する条例

※色の付いた議案は賛否が分かれた議案となります。



平成30年9月定例会（第3回定例会）議決結果

賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党入間市議団			日本共産党入間市議団		民進党入間市議団			賛成	反対	議決結果等				
		宮岡治郎	金子俊雄	平山五郎	小島清人	横田淳一	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	吉澤かつら	小出亘				佐藤匡	坂本優子	細田智也	野口哲次
市長提出議案	63 入間市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決
	66 入間市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名
市長提出議案	64 入間市議会議員及び入間市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
	65 入間市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	67 入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例
	68 入間市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	69 入間市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例
	70 市道路線の廃止について（市道A32号線）
	71 市道路線の認定について（市道A32号線ほか1路線）
	72 市道路線の認定について（市道B700号線）
	73 市道路線の認定について（市道E172号線）
	74 市道路線の認定について（市道F700号線）
	75 平成30年度入間市一般会計補正予算（第2号）
	76 平成30年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	77 平成30年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	78 平成30年度入間市介護保険特別会計補正予算（第1号）
	79 平成30年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
80 平成30年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
81 平成30年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
82 平成30年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
95 入間市手数料条例の一部を改正する条例	

平成29年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

議案第63号

入間市印鑑条例の一部を
改正する条例

市民の利便性の向上を図るため、平成31年1月15日からコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機で、印鑑登録証明書の交付を可能とするために、改正するもの。



反対
4名

日本共産党
入間市議団

今回の条例によりコンビニで端末機を使って印鑑登録証を発行することになれば、情報漏洩ろうえいの可能性が広がり、なりすまし等、犯罪の危険が大きくなる。マイナンバー制度は、制度導入を要求していた経団連が「社会保障関連の歳出について徹底的な合

理化・効率化を進めるべき」と主張し、「社会保障の給付削減・抑制を効率的に行う」ことが目的とされている制度である。導入した諸外国では、憲法違反となったり、廃止されたりしている制度である。情報漏洩の可能性が広がる本条例に反対する。

賛成
10名

自由民主党
入間市議団

コンビニエンスストア等の多機能端末機において、マイナンバーカードを使用して、印鑑登録証明書の交付を可能とするための一部改正で、自宅近くや通勤途中において、自身の都合に合わせて、証明書を取得できるので、市民の利便性は著しく向上する。

市役所や支所の窓口の混雑緩和や、人件費等の削減にもつながると期待する。
また、カードの普及促進を要請するが、コンビニでの個人情報の保護など、厳格な取り扱いに留意し、万全の体制でスタートできるよう強く要請し、賛成の討論とする。

賛成
4名

公明党
入間市議団

来年1月開始予定のコンビニの多機能端末機から各種証明書を交付するサービスに伴う改正。マイナンバーカードを使用して、全国店舗で利用可能であり、発行手数料も窓口と同料金に設定したことを評価。この事業は初期費用や維持管理に多額の予算を

投じて行うサービスである。
マイナンバーカードの交付目標や将来的な支所・市民課の窓口業務軽減に伴う職員配置目標等、将来的な市のビジョンが必須。今後、明確な指標を持って臨まれることを要望し賛成とする。

賛成
2名

民進の会

賛成理由は3点。1. 利便性の向上。マイナンバーカードを使い、コンビニエンスストアに設置されている多機能端末機で土日・祝日も印鑑証明書等の発行が可能となること。2. セキュリティ対策。専用のネットワーク回線を使用し、内容を暗号化す

ることで個人情報の漏洩防止や不正アクセスの遮断対策がなされていること。更にマイナンバーカードや印鑑証明書等の取忘れ防止対策も施されていること。3. 利便性向上により、マイナンバーカードの普及拡大に期待し賛成とする。

※市民フォーラム (1名) 賛成



議案第66号

入間市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

埼玉県の高齢心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱が改正され、所得制限が導入されたことに伴い、県と同様に助成対象者を限定するための所得制限を導入するために、改正するもの。

クローズアップ
討論



反対
4名

日本共産党
入間市議団

この条例により、重度心身障害者として医療費助成を受けていた所得360万4,000円を超える人が、所得制限により助成を受けることができなくなってしまう。腎臓病で人工透析を受けている人のこれまでの自己負担分の月1万円、年間12万円程度の補助が

外されることになる。年間所得360万4,000円は高額所得者とは言えない。この制度では2015年1月から65歳以上で新たに重度心身障害者となった方たちを受給の対象から外す年齢制限も導入された。これに続く障害者施策の改悪に反対である。

賛成
10名

自由民主党
入間市議団

県の医療費支給事業補助金交付要綱が改正され、所得制限が導入されたことに伴い、市も所得制限に係る規定を追加するもの。

前年の所得が一定額を超えた場合は、その年の10月1日から翌年の9月30日までの医療費を助成対象外とする。限られた財源

の中、経済的に可能な方には負担して頂くが、制度を継続する上での対応と理解する。

所得は世帯所得ではなく、対象者本人の所得に限り、適用の経過措置も設けている。

今後も福祉増進に向けて、なお一層充実した環境整備を要望し、賛成の討論とする。

賛成
4名

公明党
入間市議団

県の交付要綱が改正され、入間市も同様に所得制限を導入するもの。改正の所得制限基準額は、埼玉県や入間市の平均所得額より数十万円も高く設定されており、家族の所得を含めず障害者本人の所得のみを対象としている点も配慮されている。現在の

受給者には平成34年10月から適用する点や被災世帯への特例措置も評価。一方で所得制限が前年度所得のみを対象としており、前年末の急な病気や失業などの経済的激変世帯への特例措置が不十分。今後の対応を切に要望し、賛成とする。

賛成
2名

民進の会

埼玉県の重度心身障害医療費支給事業補助金交付要綱に基づき、市は県から1/2の助成を受けている。この度、県の補助金交付要綱が改正され、所得制限が導入されたことを受け、市においても同様に導入するものである。

限られた財源の中、福祉行政の安定した持続に向け、必要な改正であると考えている。今回の改正では、所得制限が適用される方は、経済的に一定の所得があり、医療費負担が可能な方であること。経過措置もあること等から賛成とする。

※市民フォーラム（1名）賛成



重度心身障害者 医療費受給者証

皆さまの温かいご協力に議員一同、心から感謝申し上げます。

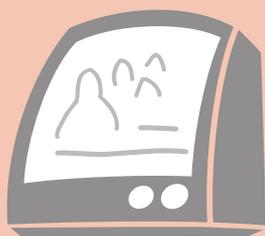
市議会では7月26日、8月5日に、市内11カ所の商業施設等で平成30年7月豪雨災害義援金募金活動を行いました。この活動で多くの方々からご協力をいただき、寄せられた義援金は総額で136,800円となりました。

なお、この義援金は、全国市議会議長会災害義援金口座に送金いたしました。

皆様の温かいご協力に議員一同、心から感謝申し上げます。



入間CATVで
本会議を
全面放映
しています



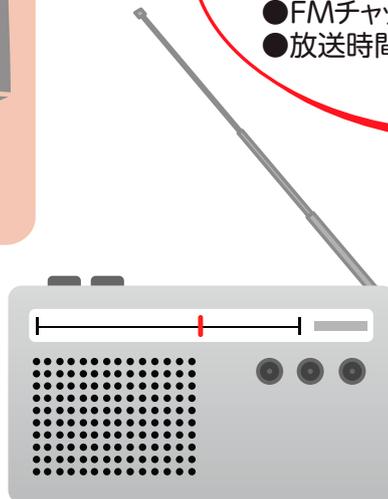
- 放映チャンネル
111チャンネル
- 放映時間
議会開催日の午後6時から

ラジオ放送しています!!

FMチャッピーで入間市議会本会議のラジオ中継をしています。

ぜひお聴きください。

- FMチャッピー 77.7MHz
- 放送時間 議会開催日当日
の午後10時から



一般質問

9月定例会の一般質問は、質問者15名により9月11日・12日・13日の3日間行われました。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです。

ページ	質問事項	質問要旨	議員名
8	一般行政	市民生活に寄りそった収税体制を	小出巨議員
	まちづくり	小中学校統廃合・他施設との複合化による影響	
	防災行政	西武地域の前堀川・大沢川の早期浚渫を	
	安全対策	八津池団地から旧グリーンロッジへ抜ける遊歩道の防犯灯の改修を	
8	公共施設マネジメント	公共施設の統廃合計画は見直しを	吉澤かつら議員
	国保・医療行政	市民の医療の負担軽減を求めて	
	生活支援	生活保護基準引き下げから市民を守る	
9	子育て支援のまちづくり	1、学童保育室の改善で子育て応援の入間市に 2、学校給食で子どもの健やかな育ちの支援を	安道佳子議員
	福祉行政	磁気ループ（ヒアリングループ）の整備拡充で誰もがいきいきと社会参加できるまちに	
9	教育行政	新たな病、「ゲーム障害」に迅速な対応を	末次正議員
	防災行政	1、土砂災害に備え早急の対策を 2、危険なブロック塀等を撤去し通学路の安全確保を	
10	災害対策	災害時にドローンの活用を	坂本優子議員
	教育行政・環境政策	公立小中学校の校庭の芝生化を	
	教育行政・安全対策	通学路等に隣接する民家の危険ブロック塀の対策を	
10	農業行政	入間市の農業の発展のために	佐藤匡議員
	防災行政	不老川・林川の洪水防止	
11	まちづくり行政	不老川整備計画について	長谷川渉議員
	道路行政	一般県道所沢青梅線の整備計画について	
	観光行政	トキ分散飼育受け入れについて	
11	子育て支援	保育所(園)の平日・土曜日の時間延長と日曜休日保育の推進を	金澤秀信議員
	一般行政	市の公文書の保存と廃棄ルールの見直しを	
	街づくり	スマホを活用した道路損傷等の市民通報制度の導入を	
	基地騒音	防音工事済みの住宅でも、新たに工事対象となる介護認定者等への「防音区画改善工事」制度の広報を	
12	行政改革	1、新規歳入確保に向けた取り組み状況 2、企業版ふるさと納税制度について 3、「稼ぐ」入間市とトップセールス	内村忠久議員
	青少年行政	青少年活動センターのあり方について	
	学校教育	夏場の教育環境改善について	
12	公共交通	公共交通再編に向けた実証運行について	松本義明議員
	スポーツ行政	スポーツ振興に向けた施設整備について	
	企画行政	1、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸について 2、入間・武蔵村山アクセス道路の実現について	
13	まちづくり行政	武蔵藤沢駅周辺土地区画整理について	古仲リカ議員
	道路行政	道路の穴・陥没の補修について	
	図書館事業	図書館の利用について	
13	一般行政	快適な公設トイレの実現に向けて	向口文恵議員
	健康行政	健康マイレージ制度に入間市独自のポイントと特典の実施を	
	交通対策	市道幹56号線（藤宮道路）の渋滞解消策	
	防災行政	災害時の乳幼児避難における対応策	
14	社会教育	誰もが読書を楽しめる環境づくり	細田智也議員
	福祉行政	ユニバーサルデザイン	
	人権	人権週間に合わせて性的少数者への取り組みを	
14	環境行政	旧入間市営国民宿舎の跡地について	宮岡治郎議員
	郷土史	『入間市博物館』の対外戦争の歴史資料について	
15	福祉・教育行政	障害児支援について	野口哲次議員
	行政改革	事業の棚卸しにおける補助金の見直し	
	行政手続	霞川万年橋下流土手のフェンス設置の経緯	



**図書館・学校複合化・
前堀川土砂**

小出 亘 議員

- **質問** 税金の滞納による差し押さえ数の推移は。
- **市長** 平成25年度は567件。29年度は1,493件である。
- **質問** 滋賀県野洲市では「差し押さえでは生活再建は進まない。なぜ滞納に至ったのかを把握し、生活再建に導くことが、納税に結びつく」という考えで支援している。入間市もそうした市民に寄り添う方向に転換すべきでは。
- **市長** 差し押さえは公平の原則でやむを得ない。
- **質問** 図書館の学校への複合化について、「子どもの安全が心配」「今ある図書館をなぜ学校に入れなくてはならないのか」等の疑問があがっているが。

市長 安全性については考慮が必要。分館の複合化はすぐに行うわけではない。

質問 仏子地域の前堀川・大沢川の川床の土砂の除去の見込みは。

都市整備部長 土砂の除去が必要だと認識。当面は草刈りを実施し、土砂の量を把握して浚渫しゅんせつに向けて準備する。

質問 八津池団地から旧グリーンロッジに抜ける遊歩道の防犯灯の改修の見込みは。

市民生活部長 17基の防犯灯中、不具合の15基に関してできるだけ早期に改修する。



土砂が堆積した前堀川

市長 耐用年数が過ぎたら除却する。

質問 市民から「この計画に納得がいかない」「来年3月の計画決定には反対」との意見が出されている。この計画には、課題が多く残されていることから、来年3月の計画決定はやめるべきと考えるが見解は。

市長 これまで意見交換会やアンケート調査に取り組んだ。市民は総論に賛成と認識しており、来年3月に予定通り決定する。

【その他】医療費の一部負担金減免制度と国保税減免制度の拡充と制度の周知を。



**公共施設の統廃合計画
は見直しを**

吉澤 かつら 議員

- **質問** 公共施設マネジメント計画は小中学校や公民館を、それぞれ9施設にまで減らすとしている。これらの公共施設は避難所・避難場所に指定されているが、廃止された場合、避難所の役割はどうなるのか。
- **市長** 廃止されれば避難所は減少するが、受け入れは4万人分あるので影響は少ない。
- **質問** 高倉では学校も公民館も統廃合の対象になっている。また、黒須地区は水害時の避難所はなく、高倉へ避難しなければならない地域もある。高倉や黒須の住民から「避難所がなくなる」という不安の声が聞かれるが、どう対応を考えているのか。
- **市長** そうした点も含め熟慮して考える。
- **質問** 地区公民館は13館から9館に減る計画だが、廃止となる施設はどうなるのか。

国保税減免制度

岡山市	公私の扶助など4項目
徳島市	災害、収入減、児童扶養手当受給、重度心身障害者など10項目
北九州市	災害、低所得、多子世帯など7項目

一部負担金減免制度

京都市	実収入が生活保護基準額の1.2倍以下は免除、1.3倍以下は2～6割の減額
-----	--------------------------------------

(参照 暮らしに役立つ制度のあらし 2017年～2018年)
国保税・一部負担金減免制度の他市の事例

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



子育て支援を・ ヒアリンググループ

安道 佳子 議員

質問 少子化対策として学童保育の待機児童解消は重要。待機児童の現状と待機児童解消に向けた対策について。

こども支援部長 4月の待機児童数は全体で90人。低学年は出来る限り受け入れたが、高学年は改善されていない。8月には待機児童が79人と多少改善された。児童センター等を活用した子どもの居場所づくり等、多様な取り組みもすすめている。

質問 処遇改善で職員確保を図るべき。

こども支援部長 4月110人の職員希望に対し実配置78人。職員募集のPR中。今後は会計年度任用職員制度導入の中で検討する。

質問 ①県内の学校給食費無償化の現状について。②多子世帯への助成から実施を。

市長 ①滑川町・小鹿野町が完全無料化

で一部補助や多子世帯への助成は13自治体。

②多子世帯への助成については現状難しい。

質問 学校給食センターの老朽化による建て替え計画で公設公営は維持されるのか。

企画部長 公設公営・民間委託等あらゆる可能性を踏まえ検討する。

質問 ヒアリンググループの整備による活用状況と更なる整備の拡充について。

市長 貸出は8月末で44件76日間。9月以降の予約は14件で大変好評。更なる整備については利用状況を踏まえ検討したい。

平成30年度 学童保育室待機児童状況

施設名	定員	4月1日現在		8月1日現在	
		入室児童数	待機児童数	入室児童数	待機児童数
豊岡学童保育室	70	69	5	66	5
藤沢学童保育室	40	56	8	55	11
西武学童保育室	40	51	2	51	3
西武第二学童保育室	40	49	3	51	4
藤沢北学童保育室	70	84	16	93	4
扇学童保育室	60	50	13	52	11
扇第二学童保育室	50	52	11	51	13
金子学童保育室	50	33	2	39	0
狭山学童保育室	70	68	4	71	0
藤沢南学童保育室	40	29	0	32	1
藤沢南第二学童保育室	40	27	0	30	2
藤沢東学童保育室	70	80	7	76	10
仏子学童保育室	50	52	4	52	2
新久学童保育室	60	33	1	38	1
東町学童保育室	55	63	14	65	12

※4月1日現在東金子・高倉・黒須・金子第二・宮寺の各学童保育室は待機児童ゼロ



「ゲーム障害」に的確な 対処を

末次 正 議員

質問 世界保健機関は「ゲーム障害」を新たに「病気」と認定。厚労省の調査でも、依存が疑われる中高生は約93万人で5年前の2倍に増加。小中学生は脳が未発達でゲーム依存に陥りやすい。ゲーム依存の危険性についての認識を問う。

教育長 今年度の調査で、ゲーム時間は3年前と比べて増加。一方、学級指導等でゲーム使用時間の注意喚起を行い、ゲーム時間制限を約束する家庭は増加している。

質問 ゲーム時間の増加はゲーム障害の認識不足の表れでは。実態調査を求める。

教育長 今後の厚労省の動向を見極めて実態調査の実施を検討。

質問 土砂災害のおそれがある区域の精度向上のために地質調査を県に要請すべき。

危機管理監 調査の実施を県に求める。

質問 土砂災害の前兆を市に連絡する「住民ホットライン」の開設を求める。

危機管理監 今後の研究課題としたい。

質問 一向に進まない、通学路の危険なブロック塀等の対策は。

市長 点検の必要性を周知していく。

質問 子どもたちの安全確保には、行政の垣根を越えて取り組むべきでは。

市長 庁内関連部署が緊密に連携し、取り組む。

- ① ゲームの使用を自分でコントロールできない
- ② ゲームを他の興味や普段の生活の事柄よりも優先させる
- ③ 問題が起きてもゲームを続ける
- ④ ゲームにより、個人や家族、社会、学習、仕事など日常生活に著しく支障をきたす



「ゲーム障害」チェックリストの主な項目



災害時にドローンの活用を

坂本 優子 議員

質問 小型無人航空機、いわゆるドローンの災害時の有効性は。

危機管理監 災害時に人が近づけない危険な場所、例えば土砂崩れの恐れのあるような場所の状況把握に有効な手段と考える。

質問 ドローンを所有し、撮影技術を持つ民間事業者との協定締結に対する見解は。

危機管理監 高度な技術・知識を持つ団体・企業との連携も必要である。情報収集に努め、災害協定締結の準備を進める。

質問 いつまでに準備を行うのか。

危機管理監 早急に検討し、年度内に状況把握、締結に向けた作業を進めていく。

【その他】「小中学校の校庭の芝生化」「通学路等に隣接する民家の危険ブロック塀の対策を」について質問。



(提供：さいたま市消防局)



(提供：さいたま市消防局)

災害対策用ドローンのイメージ



入間市の農業と不老川の洪水防止

佐藤 匡 議員

質問 入間市では主要穀物はほとんど作っていないが、主要穀物種子法によってお茶や野菜の生産などに影響はないのか。

市長 埼玉県は主要農作物種子条例を制定しこれまでと変わらない体制をとっていくとのことで、影響はないものと考えている。ただし種子の価格が上昇すると米やパンの値段に転嫁されることも想定される。

質問 保育所・学校の給食における地産地消の促進を。

市長 新鮮な農作物の提供や地域への愛着心の育成など食に対する心構えの醸成や食文化についての総合的な教育ができるメリットがあることから保育所や学校において地場農産物の利用ができるよう生産者にも働きかけていきたい。

質問 不老川改修の進捗と工法について。

市長 富士見橋・藤沢橋・不老橋・西武池袋線橋梁の4橋の架け替え、大森調節池の拡張整備を進めている。恒久的護岸にコンクリート護岸工法を採用する理由は、買収する用地が少なく済むことと施工性が良く一般的に普及していること等による。

質問 側溝・集水樹等の堆積土砂の状況。

市長 台風シーズン前・台風接近時のパトロール、市民からの通報や要請等への対応にて確認を行っている状況。



寺竹配水場屋上から見た茶畑

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



不老川整備計画・ トキ分散飼育

長谷川 涉 議員

- **質問** (1)不老川沿いの市民の方から雑草に対して苦情があるが県の除草作業計画及び河川浄化団体に対して今後の対応は。(2)瑞穂町を含めた不老川の今後の整備計画は。
- **市長** (1)埼玉県は、藤沢地区年2回、宮寺二本木地区で年1回行っているが不十分と考えている。また、河川浄化団体は大変貴重な活動であるので、市は団体に対して存続も含め支援する。(2)平成34年度で不老川床上浸水対策事業が終わるが、平成35年度以降も河川拡幅等の河川整備を要望していく。また、瑞穂町を含めた4市1町の不老川流域対策推進協議会で毎年改修要望や調整池の協議をする。
- **質問** セブンイレブン宮寺店前の渋滞解消のために県道交差点の右折車線設置と交

差点の雨水対策の改良計画の進捗状況は。

都市整備部長 右折車線設置の交差点改良工事は、道路用地買収が進み次第順次実施し、雨水対策は、交差点改良工事に合わせ市道及び擦り付け調整で滞留対策する。

質問 シティセールスを踏まえ買収した加治丘陵の敷地にトキ分散飼育受け入れを。

市長 トキ分散飼育受け入れには、施設や獣医師を含めた7名の専属職員が必要ですべての費用が市の負担となる。メリットデメリットを踏まえしっかりと研究する。



年とらず川の清流を守る会 除草作業



公文書の管理規定の 見直しを

金澤 秀信 議員

- **質問** 平日夜間・土曜日午後・日曜休日などの保育時間の延長に向け、保育ニーズの正確な調査を。
- **市長** 民間に比べ市立保育所の保育時間が短く、保護者の要望があることは理解している。今秋にニーズ調査を実施する。
- **質問** 公文書の取り扱いのルールの見直しの必要性への認識は。
- **市長** 公文書は市民の知的財産であり、現行制度の課題を検証する。
- **質問** 担当課長が総務課長と協議の上、保存期間未了でも廃棄可能なのは問題では。
- **市長** 廃棄は可能だが運用で対処。
- **質問** 地下の電動書庫室には自動消火機能や浸水対策がなく、対策が必要では。
- **市長** ご指摘の通り。庁舎建て替え時な

どに対策を検討する。

質問 保存期間満了の公文書の廃棄の可否を審議する第三者機関の設置を。

市長 先進事例を研究する。

質問 防音工事済みの住宅でも新たに工事対象となる介護認定者等への「防音区画改善工事」制度の多角的な広報を。

企画部長 市の関係窓口の他、介護事業所や老人会などにもチラシ等を配布する。

【その他】スマホを活用した道路損傷等の市民通報制度の導入を



9割以上が埋まり手狭な市庁舎地下の公文書の保存用電動倉庫



「稼ぐ」入間市とトップセールス

内村 忠久 議員

質問 新規歳入確保策のプランの具体的な検討・提案及びその取り組み状況は。

企画部長 市報、市公式HP、各種広報媒体への広告掲載、コミュニティバス車内広告掲示等の設置などで収入確保を実現している。また広告付きフロアマット、ネーミングライツなど有料広告、公共施設駐車場有料化の積極的な推進、検討をしていく。

質問 平成28年度税制改革において地方創生応援税制とし「企業版ふるさと納税」の仕組みが創設された。近隣市では積極的に活用しているが本市では活用する動きが見られない。

企画部長 厳しい財政状況のため積極的な投資は難しく対応が出来ない状況である。早い段階で検討へ移行したい。

質問 自治体が「稼ぐ」事に対する考え。

市長 積極的な財源確保への職員意識、努力は必要である。

質問 トップセールスの考え意気込みは。

市長 可能な限り企業誘致活動やPR機会を増やしトップセールスに取り組む。

質問 青少年活動センターのあり方。

市長 耐用年数を迎える時点で改めて建物を評価し、ニーズを踏まえ施設の利用を継続し、そのための機能維持に努めていく。

【その他】夏場の教育環境改善について。



自然を活かし多様な活動ができる
市内唯一の施設 青少年活動センター

③スポーツ施設の位置づけでは現在ない

④改めて国に確認一時利用は極めて難しい

質問 多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸は、最大限活かしていくべきである。実現の可能性と本市の取り組みは。

市長 箱根ヶ崎方面への延伸の可能性があると考えます。コミュニティバスを乗り入れモノレールで多摩地区に移動する方法も考えられる。人口減少対策にもつながる。

【その他】「公共交通再編に向けた実証運行」「入間・武蔵村山アクセス道路の実現」



(提供：多摩都市モノレール株式会社)

箱根ヶ崎方面へ延伸の可能性がある
「多摩都市モノレール」



スポーツ振興 多摩都市モノレール

松本 義明 議員

質問 スポーツ振興を図るには、施設整備が必要である。現状と課題認識は。

健康推進部長 広く市民のスポーツニーズを把握する。市民の求めるスポーツ環境を効率的かつ効果的に整備していく。

質問 スポーツ環境の充実に向けた更なる取り組みとして、既存施設や用地の活用について4点提案する。見解と方針は。

①市内の大学・高校グラウンドの活用

②黒須サッカー場の人工芝化

③狭山台地区近隣公園の活用

④扇町屋第一区にある国有地の一時利用

副市長 実施が難しいものもあるが、今後もスポーツ環境の充実を図っていく。

①スポーツニーズを踏まえ学校側と調整

②財源の課題はあるが一つの方法と認識

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



武蔵藤沢区画整理・ 道路・図書館

古仲 リカ 議員

質問 区画整理完成後の町名変更は。

都市整備部長 まちづくり研究会と住民・地権者から確認方法を含め方向性を検討。

質問 藤沢中央公園と藤沢なかよし公園の雨水調整池の活用、維持管理の状況は。

都市整備部長 一時的に区画整理地内に貯留する雨水流出抑制施設で他の用途には活用できない。維持管理は、業者に委託。

質問 街路樹植栽後の維持管理は。

都市整備部長 剪定を年1回、7~10月に除草を年3回業務委託。現地状況を確認しボランティア活動の構築を検討したい。

質問 道路の穴・陥没の補修依頼と実績件数。市道・私道で補修の違いは。

都市整備部長 67件の内62件は直営作業。通り抜けできる私道は市道と同様に対応、

行き止まり私道は住民へ補修用材料を支給。

質問 一部補修と全体舗装工事の違いは。

都市整備部長 市民からの穴埋め依頼と舗装補修計画に基づく広い範囲の舗装工事。

質問 図書館の利用方法を周知し、返却場所を増やしてみてもは。

教育部長 HPや利用案内で周知。図書館だよりや広報いるまを活用し周知を図る。やまばと号が停車する公民館での回収は回収サイクルが、週一でトラブルの恐れがありシステム構築も必要、今後研究していく。



武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業
藤沢中央公園雨水調整池、街路樹



快適な公設トイレ・ 渋滞解消策

向口 文恵 議員

質問 誰もが安心して外出するためには快適なトイレの実現が必要。(1)個室にベビーキープの設置を(2)屋外の公衆トイレに暖房付便座設置を(3)屋外の和式トイレのみの箇所は一部を洋式トイレに変更すべき。

市長 (1)子育て家庭を支援するためには必要であり、多目的トイレには設置するよう調整。施設整備の際には検討していく。(2)いたずらの懸念があるが将来的課題として検討。(3)改築に合わせ順次検討する。

質問 国道16号に接する、市道幹56号線(藤宮道路)の慢性的渋滞の解消策として、(1)右折レーンの延長を(2)渋滞情報を走行車両に届けるための車両検知器設置を(3)国道463号バイパスに渋滞情報用電光掲示板を。

市長 (1)道路の拡幅を要するので他施策

と総合的に勘案し検討。(2)県に再度要望する。(3)まずは車両検知器を最優先に要望。

質問 災害時の要配慮者である乳幼児避難の対応策として、(1)保育所を乳幼児家庭の避難所に指定を。(2)解禁となった「液体ミルク」を災害時の備蓄品として検討を。

危機管理監 (1)現在は考えていないが他市の事例などを研究していく。(2)価格や保存期限など課題はあるが、流通の動向を踏まえ、最低限の備蓄として検討。

【その他】健康マイレージに市の独自性を



市内施設の旧来の多目的トイレ
一日も早くベビーキープの設置を



読書環境の充実・ 人権週間

細田 智也 議員

質問 LLブック*を特別支援学級や学校図書館に導入する考えは。

*LLブック：「やさしく読みやすい本」の略。障害などにより通常の活字図書の利用が困難な人にも理解できるように、図や写真を多く使う等の工夫をして書かれた本。

教育部長 機会を捉えて、各学校で紹介していく。

質問 LLブックの今後の展望と課題は。

教育部長 予算の範囲内で蔵書数を増やしていく。

質問 市内各図書館において、LLブックのコーナーの設置を。

教育部長 蔵書数が少ないのが現状。先ずは、本館に設ける。蔵書数が増加したら、各分館でも設置していく。

質問 ブックスタート事業の現状は。

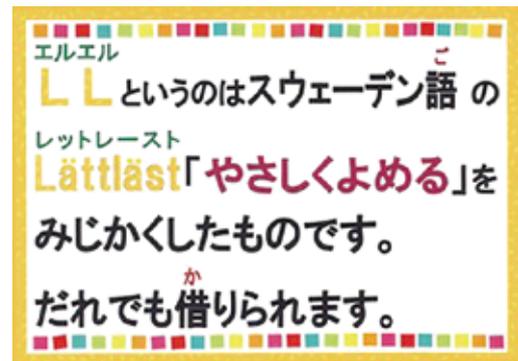
教育部長 行っていない。

質問 ブックスタート事業の実施方法、実施時期は。

教育部長 庁内関係機関と調整・連携を図りながら、決定していく。時期は、財政状況をみながら実施に向けて努めていく。

質問 人権週間に合わせて性的少数者の取り組みを。

市民生活部長 本年12月4日から10日の人権週間に合わせ、パネル展示を計画する。



(提供：社会福祉法人埼玉福祉会)

LLブック



国民宿舎の跡地 郷土史の戦争資料

宮岡 治郎 議員

質問 旧入間市営国民宿舎の跡地について。(1)加治丘陵さとやま計画の中で、自然活用区域となる意義は。(2)既設の擁壁を補強すれば、新規築造より費用縮減となるか。

都市整備部長 (1)山林の環境と景観を維持しながら、里山の機能を充実し、観光等の経済面でも活用出来る。主に居住地に隣接し、市民が身近な所で自然と触れ合える。

環境経済部長 (2)旧建物跡の南側と北側の二か所の擁壁は、撤去せず現状のまま残置するが、補強はしない。土砂崩れ防止の為に、その間を補う新たな擁壁を築造する。

質問 入間市博物館の対外戦争の歴史資料について。(1)資料の活用で学校との連携の実績は。(2)現入間市地域の戦没者の人数は。(3)住民の戦時生活の解明はどこまでか。

教育部長 (1)小学校では、博物館の学芸員の出前授業の例や、防空頭巾・国民服・出征兵士の写真等の貸出しの例がある。中学校では、戦争の「語り部」を招く事もある。

教育部長 (2)入間市史の、市内各地の記念碑等の調査報告書では、800人近い数としている。(3)配給や灯火管制等の記録文書があり、防空訓練等の写真もある。戦争の体験談を聞き取り、情報を蓄積している。



(入間市博物館所蔵)

出征兵士への寄せ書き

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



児童発達支援センター の設置

野口 哲次 議員

質問 入間市では、早期発見早期療育、切れ目のない支援に向けた整備の柱として、平成32年度に、児童発達支援センターを設置する。支援の内容と専門性は。

こども支援部長 センターでは、通所障害児に対する療育やその家族への支援を行う「児童発達支援事業」と地域支援事業としての「保育所等訪問支援事業」と「相談支援事業」を想定している。専門職を含む人員を配置し、地域の中核的な療育施設としての質の確保を図りたい。

質問 なんでも相談ができ、その後も継続して相談ができる場が、保護者の願いである。センターの「相談支援」が、窓口の一本化として機能できるか。

こども支援部長 市では、保健・福祉・

教育の各部門に、発達支援の相談窓口を設置している。センターを検討する中で、ワンストップで対応し、0歳から18歳まで継続した支援を行うことができる相談窓口の実現に向け、関係課と協議する。

質問 日野市では、福祉と教育の両部門から担当が出て、総合相談所を開設している。入間市でも、参考になると思うが。

こども支援部長 参考にしたい。

【その他】 「行政改革 事業の棚卸しにおける補助金の見直し」



児童発達支援センターが入る予定の健康福祉センター

議会を傍聴しませんか

議会で行われる本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市議会活動や市の施政方針などを実際に見聞きすることができますので、ぜひお越しください。今回は本会議を行う「議場」での傍聴の手順をご紹介します。



市役所正面玄関から市役所の中に入ります。



西口エレベーターに乗り、5階まで上がります。



エレベーターを降りると傍聴受付があります。



傍聴申込書に「住所」「氏名」「年齢」を記入し、傍聴受付をします。



議場の傍聴入口より議場に入り、傍聴できます。傍聴席の座席は自由です。

Q & A

- Q. 予約は必要ですか。
- A. 予約は必要ありません。ただし、団体で傍聴される際は、事前に議会事務局にご連絡ください。
- Q. 写真やビデオ撮影はしてもいいのかわ。
- A. 議場内での写真やビデオ撮影はできません。



入間市インタビュー 市民の声

interview 1



大好きな街 入間市

平澤 優依 (二本木・中学生)

私は入間市で生まれ育っています。
緑が豊かで、美味しいお茶の産地である
ここ入間市が大好きです。

私は、小さな時から、隣近所の友達と、
夕方遅くまで走り回って元気に遊んでいま
した。

家族だけではなく、近所の方にも親戚の
様に、「こんにちは！今日は一人なの？」
とか「おやつ食べる？」と親切にして頂き
ました。多くの人の優しさを頂きながら大
きくなったことを実感しています。だから
こそ、この地で社会人となり、いつか私が
してもらったことをしてあげられる様にな
りたい。

私はダンサーになり、入間市の子供達に
教えられるようになりたい。夢がかなうよ
うに一日を大切に楽しみながら頑張りたい
と思います。

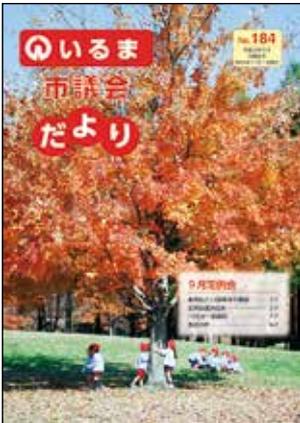
interview 2



地域との繋がり

堂屋 かずこ (下藤沢・パート)

核家族化で高齢化も進み、ご近所付き合
いも希薄な現在、入間市も空き家が多く目
につくようになってきました。私の実家も
しかりで、維持費だけがかかる家を何か活
かす事は出来ないかと考え、色々な趣味の
方々が集い、趣味という糸を紡いで素敵な
人生の和が織りなされる場になって欲しい
との願いを込めフリースペースに改装して
「いとぐるま」と命名致しました。趣味の
落語仲間と落語会を催したり、コンサート
などご近所の方々が集まり楽しんで頂ける
イベントを企画し、少しでも地域の活性化
に貢献できコミュニケーションの場となっ
て欲しいと願っております。やっと1年を
迎えましたが、これからは年齢の枠を外し
て寄り添い語り合える場としての企画を考
え、70歳目前の私も老いとたたかって地
域と関わって行きたいと思っております。



いるま市議会だより No.184

表紙 / 彩の森入間公園紅葉
撮影 / 市民カメラマン
川北由紀子さん
編集 / 議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○松本 義明
小出 亘 末次 正
長谷川 渉 古仲 リカ
内村 忠久 細田 智也
野口 哲次

発行 / 入間市議会
インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>

12月定例会日程案

- 11月27日 (火) 開会
- 12月 3日 (月) 総括質疑
- 12月 4日 (火) 総務常任委員会
- 12月 5日 (水) 都市経済常任委員会
- 12月 6日 (木) 福祉教育常任委員会
- 12月10日 (月) 一般質問
- 12月11日 (火) 一般質問
- 12月12日 (水) 一般質問
- 12月18日 (火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、
議会事務局へお問い合わせください。

